

三重県入札等監視委員会 審議概要（平成26年度 第5回）

開催日及び場所	平成27年2月26日(木)14:30~17:00 アスト津 4階 会議室1	
出席委員	委員長 林 拙郎 副委員長 福島 礼子 委員 石黒 覚 委員 長谷部 拓哉 委員5名中4名出席	
入札・契約事案の審議について		
審議対象期間	平成26年10月1日から平成26年12月31日	
抽出案件	総件数 4件	(備考)
一般競争入札	3件	
指名競争入札	0件	
随意契約	1件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
事故繰越事案の審議について		
平成26年度事故繰越事案	5件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	特になし	

平成26年度第5回三重県入札等監視委員会(定例会議) (平成27年2月26日)	
意見・質問	回答
入札・契約事案の審議について	
工事名 宮川4工区地区県営かんがい排水事業(一般)大湊線用水路その1工事 [伊勢農林水産事務所]	
<ul style="list-style-type: none"> ・総合評価の審査結果で、差がついたのは技術提案のところか。 ・入札参加可能業者は入札に参加したこの3者だけか。 ・管更生工法の部分はどこ建設業者でも実施できるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・落札候補者の技術提案の特記課題が最も具体的で実行性があり、評価が高かった。 ・地域要件や企業要件を満たす業者は27者ある。 ・専門工事となるため、下請けになる。
工事名 二級河川三渡川河川改修(三渡橋仮橋設置)工事 [松阪建設事務所]	
<ul style="list-style-type: none"> ・入札参加者が少ないが、高度な技術が必要な工事なのか。 ・2回目の公告も入札参加者が少ないが、入札参加要件を緩和することは考えなかったのか。 ・1回目の公告で、参加申請業者1者が参加資格喪失届を提出しているが、理由はなにか。 ・2回目の参加業者に、1回目に参加申請した業者は入っているのか。 ・企業要件に鋼桁の自社製作を求めている理由はなにか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鋼橋のメーカーであればそれほど難しい工事ではない。 ・入札参加資格を満たす業者は34者程度ある。参加者が少なかった原因は、技術者の配置が難しいということがあると考え、2回目の公告は技術者の要件を外している。 ・参加申請後に、当該工事に配置を予定していた技術者が、従事していた他の工事が延長されたことによって、入札の際の配置予定の技術者がいなくなった。 ・1回目の参加申請業者も2回目の参加業者に入っている。2回目は参加資格要件から技術者の要件を外したことから、参加できたのだと思われる。 ・橋梁の専門工事であるため、自社工場で桁を作っている橋梁専門業者であるということを求めている。
工事名 二級河川往古川(左岸)河川災害復旧工事(H26国災第4号) [尾鷲建設事務所]	
<ul style="list-style-type: none"> ・最低入札額の者が無効となっているが、無効の理由はなにか。 ・事情聴取をして談合があったと認定したことは今までにあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入札額と入札時に提出する工事費内訳書の金額が一致していなかったことから無効とした。 ・事情聴取の中ではない。工事費内訳書の確認において、内訳書の内容が類似しており、談合と認定することはできないが、談合の状況が払拭しきれないと判断した例は過去にはある。
工事名 中勢用水地区農村地域自然エネルギー活用推進事業小水力発電施設その3工事 [津農林水産事務所]	
<ul style="list-style-type: none"> ・見積もりを依頼した理由はなにか。 ・見積もり依頼した5者が、辞退した理由はなにか。 ・本体の工事も当該工事の契約業者がされたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊工事であるため、県の資料では積算ができないことから見積もりを依頼した。 ・他社が作った製品を自社の工場に持ってきて整備するということは現実的にできないという理由がほとんどである。 ・ダム本体の工事は大手の土木工事施工業者がされているが、主ゲートは、当該工事の契約業者がしている。

平成26年度第5回三重県入札等監視委員会(定例会議) (平成27年2月26日)	
意見・質問	回答
事故繰越事案の審議について	
工事名 ①二級水系井戸川水系井戸川砂防災害関連工事その14 [施設災害対策課]	
<ul style="list-style-type: none"> 石を破碎する場合、この現場のように静的破碎で行うのは例外的なものか。 ブレーカによる破碎と静的破碎剤を用いた工法では費用はどれほど違うのか 契約金額の変更はあったのか 騒音の大きさは測定したのか 	<ul style="list-style-type: none"> 現場毎に判断するが、この現場においては使用は考えていなかった。 静的破碎剤を用いた工法の工費はブレーカに比べると約7倍。 変更契約で対応する 測定した。基準値は超えていないものの、近隣住民の方々に配慮した工法を採用した。
工事名 ②二級水系井戸川水系井戸川砂防災害関連工事その16 [施設災害対策課]	
<ul style="list-style-type: none"> 契約金額の変更はあったのか。 岩の状況は場所によって異なるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 変更契約で対応する。 当該工事では岩が露出しており、ボーリング調査はしなかった。
工事名 ③二級水系井戸川水系井戸川砂防災害関連工事その10 [施設災害対策課]	
<ul style="list-style-type: none"> 工事完了予定はいつなのか 仮設管をφ 2,000からφ 1,000にしたのはなぜか 	<ul style="list-style-type: none"> 台風時期までに完了させる 工事中の川の河積を確保するために変更した。
工事名 ④主要地方道七色峡線(上流域)他道路災害関連工事その12 [施設災害対策課]	
<ul style="list-style-type: none"> 工事③と工事④の施行業者は同じか 	<ul style="list-style-type: none"> 違う業者である。
工事名 ⑤二級水系井戸川水系井戸川砂防災害関連工事その11 [施設災害対策課]	
<ul style="list-style-type: none"> 契約金額はこの案件も含め5件とも変更するのか 工期が変わったことで違約金は発生しないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 工法の変更、数量の変更があったものは金額の変更がある。工事名④の橋梁上部工工事は数量等が変わらないので工期 のみの変更になる。 受注者の責による工期変更ではないので違約金は発生しない。
その他	
<ul style="list-style-type: none"> 次回、平成27年度第1回入札等監視委員会の開催日は、平成27年5月19日(火)の予定とする。 	